

米軍ヘリポート基地に関する要請書

都心港区の市街地に米軍基地(赤坂プレスセンター)が設置され、港区民とりわけ近隣住民は、ヘリポート基地の使用による騒音に悩まされ、事故発生の不安を常に抱えています。

このため、港区と港区議会は、これまでも旧防衛施設庁をはじめ関係機関に当該ヘリポート基地の早期撤去を要望してきました。

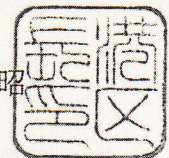
一方、平成23年7月29日、日米合同委員会の合意に基づき実施されました土地の返還は、港区と港区議会が永年求めてきた都道環状3号線の工事に伴って提供された臨時ヘリポート用地の公園への原状回復・返還ではなく、代替地の返還という、地元自治体の願いとは程遠いものです。

こうした中、昨年は8月に沖縄県宜野座村において米空軍所属のヘリコプターの墜落事故が発生し、12月には神奈川県三浦市に米海軍所属のヘリコプターが不時着横転する事故が連続して発生しています。人命に関わる惨事につながりかねない事故が繰り返し発生することは、同様に米軍基地が存在する港区民にも大きな衝撃と不安を与えています。

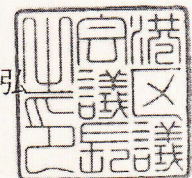
港区と港区議会は、区民の安全で安心な生活を守るため、ヘリポート基地の早期撤去を目指します。防衛省におかれましては、米国に対し、事故の再発防止を求めるとともに、国の責任において継続的に騒音等の実態調査を実施し、早朝、夜間の飛行をはじめとする騒音等の被害を軽減するとともに、改めて基地撤去へのご尽力をいただきたく、要請いたします。

平成26年1月31日

港 区 長 武 井 雅 昭



港区議会議長 井 筒 宣 弘



防衛大臣 小野寺 五典 様